

公益社団法人

愛知県臨床検査技師会誌

らぼ

Laboratory

Work and

Research

資料

学術部研究班記録

会員業績集

文献略号

らぼ

Lab

The Bulletin of Aichi Association of Medical Technologists

Vol. 69 No.1 2018

会誌「らぼ」69巻の発刊に寄せて

会 長 梶 山 広 美

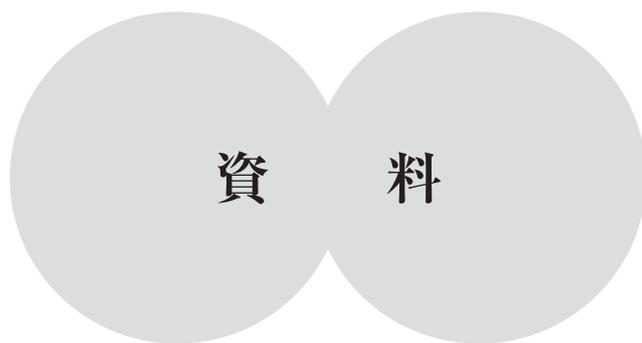
平成30年度は診療報酬の改定があり、診療報酬本体は+0.55%増、検査領域では日臨技が重要要望としていた採血料が25点から30点に引き上げられ、評価できる結果となりました。今回は、6年に一度の診療報酬と介護報酬の同時改定であり、団魂の世代が全て75歳以上の高齢者となる2025年に向けた道筋を示す実質的に最後の同時改定となり、医療・介護両制度にとって重要な節目の年になりました。また、「医療法等の一部を改正する法律」の施行に向けた対応が始まり、平成30年12月ごろには法律、省令が施行されます。日臨技では、この法改正への対応として、精度管理事業、精度保証施設認証制度などの精度保証事業の再構築が図られます。

このように、より効率的で質の高い医療提供体制の構築を目指すため、医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実が図られていき、その視点の中には、患者等から見て分かりやすく納得でき、安心・安全で質の高い医療を実現すること、医療従事者の負担を軽減すること等が挙げられています。

当会は、この患者等から見て分かりやすく納得でき、安心・安全で質の高い検査を提供できる臨床検査技師の育成のため、研究班活動、精度管理調査、スキルアップ研修会（新人・中堅）、愛知県医学検査学会等多くの学術活動や組織活動を行っています。さらには、多職種連携によるチーム医療の中で、検体採取から検査説明を実施し、検査結果の精度保証を確保するとともに、病棟業務や緊急検査、そして在宅へと取り組みを進めています。このような活動の中で、当会の学術情報誌として位置づけられる会誌「らぼ」を発刊する運びとなりました。この会誌「らぼ」には、愛知県医学検査学会の発表において優秀と認められた会員に論文投稿していただいております。残念ながら、平成29年度は学会を開催しておりませんので、論文掲載はありません。また、資料としては、「平成29年度検査室の管理運営に関するアンケート調査」の報告を掲載しております。このアンケートの目的は、愛臨技事業活動の参考資料とするとともに、会員の皆様への業務に関する情報提供にあります。毎年継続的に実施しており、会員にとって利用価値のある調査内容となるよう検討されております。今後ともご協力をお願いします。そして、巻末には会員の業績一覧を掲載しております。会員全ての業績報告ではありませんが、業績が記録に残ることは大変貴重なことと考えております。是非、会員の皆様にご報告いただき多くの業績が掲載されることを望みます。

最後になりましたが、今後も会員の皆様には、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして、本誌を発刊するにあたり、広報担当の方々をはじめ関係各位に多大

なるご協力をいただきましたことを深く感謝申し上げます。



資料

「平成29年度 検査室の管理運営に関するアンケート調査」報告

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 組織部

【はじめに】

組織部では今年度も組織実態を把握するためアンケート調査を実施した。主項目として1. 施設情報、2. 労働状況、3. 技師職情報、4. 精度管理、5. 検体採取、6. 検査説明、7. 病棟検査、8. 認知症検査、9. 研修会を挙げ、細項目についてそれぞれ設問に回答して頂いた。対象は愛知県臨床検査技師会に所属する会員施設283施設で、アンケートを配布し所属長に回答を依頼した。回答施設は163施設であり、回収率は58%であった。このアンケート結果を参考に各施設で今後検討すべき事項を整理して頂けたら幸いです。

【集計結果】

設問1. 貴施設の施設概要等についてお尋ねします

1.1 施設分類 (図1) では、大学病院が4施設2% (前年3%)、健診部門のある病院が70施設43% (前年46%)、健診部門のない病院が44施設27% (前年27%)、医院・診療所が22施設14% (前年10%)、登録衛生検査所・検査センターが11施設7% (前年6%)、健診機関が6施設4% (前年4%)、保健所が2施設1% (前年1%)、その他が4施設2% (前年3%)であった。

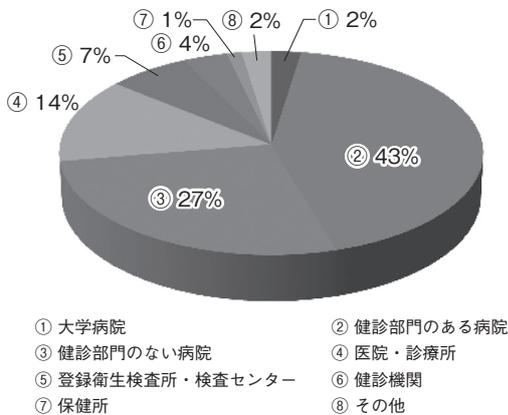


図1 施設分類

1.2 病床数 (図2) では、病床を有さない施設が39施設 (24%)、100床未満が22施設 (14%)、101~200床が39施設 (24%)、201~300床が17施設 (10%)、301~500床が23施設 (14%)、501~800床が16施設 (10%)、801~1000床が5施設 (3%)、1001床以上が2施設 (1%)であった。

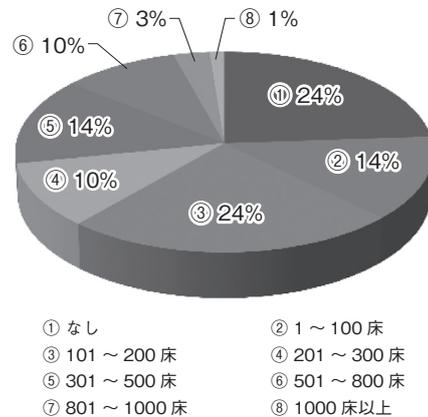


図2 経営主体

設問2. 労働状況についてお尋ねします

2.1 育児休業の取得状況 (表1)

表1 育児休業

取得状況	病床数								合計
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	
取得できる	22	12	31	13	23	15	5	2	123
取得していない	3	4	1	0	0	1	0	0	9
制度なし	5	1	0	1	0	0	0	0	7
その他	9	5	7	3	0	0	0	0	24

育児休業の取得状況の調査では育児休業を取得できる施設は全体で123施設 (75%)であった。大規模施設ではほぼ全施設が取得できていた。

2.2 介護休業の取得状況 (表2)

表2 介護休業

取得状況	病床数								合計
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	
取得できる	5	3	10	3	7	8	1	1	38
取得していない	3	4	7	2	2	4	3	0	25
制度なし	9	6	2	1	1	0	0	0	19
その他	22	9	19	10	13	4	0	1	78

介護休業の取得状況の調査では介護休業を取得できる施設は全体で38施設（24％）であった。その他の回答が多数を占めたが、「制度自体はあるが、今まで該当する技師がいなかった」との意見が多かった。

2.3 育児支援状況（表3）

表3 育児支援状況

病床数	(施設数)								合計
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	
育児支援がある	16	10	26	10	18	13	3	2	98
育児支援はない	21	11	11	7	4	2	2	0	58

育児支援状況の調査では何らかの育児支援があると答えた施設が98施設（63％）であった。

2.4 育児・介護休業中もしくは休業後復職支援状況（表4）

表4 育児・介護休業中もしくは休業後復職支援状況

病床数	(施設数)								合計
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	
復職支援がある	13	6	17	7	14	7	2	1	67
復職支援はない	24	16	19	10	8	8	3	1	89

育児・介護休業中もしくは休業後復職支援状況の調査では何らかの復職支援があると答えた施設が67施設（43％）であった。

2.5 「2.4復職支援がある」に回答した場合、具体的な支援の内容

復職支援がある施設の場合、以下のような内容であった。

- 時短勤務
- 残業なし
- 日当直免除または軽減。夜勤免除。待機当番免除
- 保育所・託児所支援
- 何年ブランクがあっても復職可
- 休業前の職場、職制で復帰出来る
- 復職にあたりヒアリングを行っている
- 復職前研修
- 宿直や待機・早出業務等に対する再トレーニング実施している
- マニュアルによる業務技能チェック
- 子の看護・介護のため特別有給休暇を設けている
- 産前産後休暇における社会保険料免除
- ケースバイケースで産業医が検討する

設問3. 技師職についてお尋ねします

3.1 臨床検査業務に従事している臨床検査技師数（表5）

表5 臨床検査技師数

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	全体
正職員(名)平均	8.6	3.4	6.5	8.7	18.7	37.6	48.4	82.0	13.8
非常勤及びパート職員(名)平均	4.5	1.4	1.4	1.4	4.0	8.1	2.8	15.5	3.4
正職員比率(%)	66	71	82	86	82	82	95	84	80

臨床検査業務に従事している臨床検査技師数についての調査では病床数が少ない施設ほど非常勤及びパート職員の比率が高い傾向にあった。

3.2 貴施設の検査技師の男女比について（正職員・非常勤・パート含）（表6）

表6 技師の男女比

病床数	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	全体 (%)
男性 (%)	24	25	29	35	35	33	45	47	30%
女性 (%)	76	75	71	65	65	67	55	53	70%
女性比率別(施設数)									
0～20%	2	3	0	0	0	0	1	0	6
21～40%	3	1	2	3	0	0	0	1	10
41～60%	5	2	11	5	6	5	1	0	35
61～80%	5	1	13	6	16	10	3	1	55
81～100%	23	15	13	3	1	1	0	0	56

検査技師の男女比についての調査では病床数が少ない施設ほど女性の比率が高い傾向にあった。病床数にかかわらずすべての施設の平均でも女性が70%と男性技師を大きく上回っていた。

3.3 認定資格取得者数 H29年12月末現在でお答え下さい (表7)

表7 認定資格

病床数	(人数)								合計
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	
超音波検査士	34	16	34	18	78	92	42	22	336
細胞検査士	36	0	7	23	59	87	28	16	256
認定輸血検査技師	4	0	3	4	14	33	13	9	80
認定臨床微生物検査技師	0	0	1	1	0	17	8	3	30
認定一般検査技師	3	0	1	1	7	9	2	6	29
認定血液検査技師	2	0	1	3	5	14	7	8	40
認定心電検査技師	5	1	1	5	16	24	6	11	69
認定病理検査技師	0	0	0	1	7	10	9	6	33
認定臨床緊急検査士	0	0	5	3	22	42	6	17	95
認定臨床染色体遺伝子検査師	1	0	0	0	0	0	0	1	2
認定認知症領域検査技師	2	0	0	1	0	3	0	1	7
認定救急検査技師	0	1	1	1	5	15	1	4	28
臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師	0	0	0	1	0	4	3	1	9
日本糖尿病療養指導士	3	3	9	4	19	37	4	7	86
一級臨床検査士	0	0	0	0	0	0	0	1	1
二級臨床検査士	23	0	6	6	30	65	18	68	216
その他の認定技師	7	3	6	1	27	32	13	5	94

認定資格取得者数の調査では施設の日常業務の必要性から超音波検査士、細胞検査士の取得者の比率が高かった。次いで、二級臨床検査士、認定臨床緊急検査士、日本糖尿病療養指導士、認定輸血検査技師、認定心電検査技師が施設の規模に関わらず取得者が多かった。その他の認定技師の内容としては学会認定技術師（脳波分野、筋電図・神経伝達分野、心電図）、血管診療技師、認定エンブリオロジスト、NST、CVTなどであり、大規模施設ほど様々な分野の認定取得者が多く見られた。

設問4. 貴施設の精度管理についてお尋ねします

4.1 日臨技精度保証施設である (表8)

表8 日臨技精度保証施設

病床数	(施設数)								合計
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	
はい	8	3	7	1	3	12	4	2	40
いいえ	31	19	32	16	20	4	1	0	123
申請中	1	0	0	0	1	1	1	0	4
予定なし	25	17	30	16	16	1	0	0	105

日臨技精度保証施設は40施設で前回調査と同数であった。前回調査では申請中の施設が全く無かったが、今回の調査では4施設あり、また、回答欄には無かったが申請を検討している・準備して

いる施設も数施設あった。

4.2 精度管理は以下の調査に参加している (複数回答可) (表9)

表9 精度管理調査

病床数	(施設数)								合計
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	
日本医師会	13	5	17	9	18	14	4	2	82
日本臨床衛生検査技師会	19	9	26	11	20	16	5	2	108
愛知県臨床検査技師会	13	7	23	11	13	16	5	2	90
CAPサーベイ	2	0	0	0	1	0	1	1	5
全国労働衛生団体連合会	4	0	2	0	1	0	0	0	7
各種学会主催	4	1	1	0	3	2	1	1	13
企業主催	18	8	19	9	15	12	3	1	85
その他	5	1	0	0	1	0	0	0	7
精度管理は実施していない	7	5	2	0	0	0	0	0	14

各施設の外部精度管理調査の参加状況は日本医師会が82施設50%、日本臨床衛生検査技師会が108施設66%、愛知県臨床検査技師会が90施設55%、CAPサーベイが5施設3%、全国労働衛生団体連合会が7施設4%、各種学会主催が13施設8%、企業主催が85施設52%、その他が7施設4%であった。その他には愛知県医師会、総合健診医学会などの精度管理に参加している施設があった。精度管理を実施していない施設が14施設あったが、その理由としては、「検体検査はすべて外注している」、「精度管理をすべき機器を保有していない」、「予算が付かない」、「パート職員しかおらず調査に参加する時間的余裕がない」などがあつた。

4.3 ISO 15189を取得している (表10)

表10 ISO 15189取得施設

病床数	(施設数)								合計
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	
はい	1	0	0	0	0	2	2	2	7
いいえ	37	21	39	17	23	14	3	0	154
申請中	0	0	0	0	1	0	1	0	2
予定なし	34	20	35	15	18	9	1	0	132

ISO 15189を取得している施設は7施設あり、ほぼ大規模施設だけであった。回答欄には無かったが申請を検討している・準備している施設も数施設あった。

設問5. 検体採取についてお尋ねします

5.1 貴施設で臨床検査技師が行なっている検体採取業務はありますか（複数回答可）（表11）

表11 臨床検査技師が行なっている検体採取業務

病床数	(施設数)								
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液等	6	10	10	2	9	2	1	0	40
表皮並びに体表及び口腔の粘膜	4	4	6	2	1	0	1	0	18
病変部位の膿	1	2	5	0	0	0	0	0	8
体表の付着物	2	3	6	2	1	0	1	0	15
糞便	2	3	6	0	3	0	0	0	14
嗅覚検査	0	0	0	0	0	0	0	1	1
味覚検査	0	0	1	0	1	0	0	1	3
実施していない	30	12	24	14	12	14	4	1	111
精度管理は実施していない	7	5	2	0	0	0	0	0	14

臨床検査技師が行なっている検体採取業務について調査したところ臨床検査技師が検体採取を行っていない施設が111施設（68%）と前回調査とほぼ同じ割合であった。実施している業務としては、「鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液等」を採取する行為が最も多く、次いで「表皮並びに体表及び口腔の粘膜を採取する行為」、「鱗屑、痂皮その他の体表の付着物を採取する行為」、「綿棒を用いて肛門から糞便を採取する行為」が多かった。

設問6. 臨床検査技師による患者さんへの結果説明についてお尋ねします

6.1 外来・病棟等で検査説明の相談窓口を開設していますか（表12）

表12 検査説明

病床数	(施設数)								
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
外来にて実施	3	1	1	0	2	3	1	0	11
病棟にて実施	0	1	1	0	0	3	1	0	6
現在検討中	1	0	3	1	2	2	0	0	9
実施していない	34	21	33	16	19	10	3	2	138

外来・病棟等で検査説明の相談窓口を開設しているか調査したところ実際の業務において臨床検査技師が検査説明を行なっている割合は17施設（10%）のみであった。

設問7. 病棟業務についてお尋ねします

7.1 病棟に臨床検査技師を配置していますか（表13）

表13 病棟業務

病床数	(施設数)								
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
常駐させている	0	0	0	0	1	1	0	0	2
部分的に配置	0	0	1	0	0	1	0	0	2
サポート体制構築	0	2	0	0	0	2	2	0	6
現在検討中	0	0	4	1	3	1	0	0	9
実施していない	28	20	33	16	19	11	3	2	132

病棟に臨床検査技師を配置しているかの質問では现阶段で臨床検査技師が病棟検査業務を行なっている割合は10施設（7%）のみであった。

設問8. 認知症検査業務についてお尋ねします

8.1 認知症検査を実施していますか（表14）

表14 認知症検査

病床数	(施設数)								
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
実施している	6	11	18	7	9	4	1	0	56
実施していない	31	11	21	10	14	12	4	2	105

認知症検査を実施している施設は56施設（35%）であった。

8.2 「8.1実施している」と回答した場合、どの職種を配置していますか（表15）

表15 認知症検査実施職種

病床数	(施設数)								
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
臨床検査技師	2	1	0	0	0	0	0	0	3
看護師	6	8	15	3	4	2	1	0	39
臨床心理士	0	0	1	3	3	4	1	0	12
理学療法士	0	3	1	1	1	2	0	0	8
作業療法士	0	2	4	2	2	1	0	0	11
その他	0	1	0	0	2	0	0	0	3

認知症検査を行っている施設の中で臨床検査技師が実施している施設は3施設（5%）のみであった。看護師が担当する施設がやはり多く、次いで臨床心理士、作業療法士、理学療法士の順であった。その他には保健師、言語聴覚士などの回答があった。

設問9. 当会が開催する研修会についてお尋ねします

9.1 研修会等で参加しやすい日時についてお聞きします (表16)

表16 研修会

病床数	(施設数)								
	なし	1-100	101-200	201-300	301-500	501-800	801-1000	1001以上	合計
土曜日午後	21	16	32	12	19	13	3	2	118
平日18:30 (19:00)~	9	2	2	3	3	0	1	1	21
日曜日	22	11	16	7	7	3	2	1	69
その他	2	0	2	0	0	0	0	0	4

研修会の開催日時の希望については、土曜日午後に希望する施設が118施設と最も多かったが、日曜日 (69施設) や平日 (21施設) を希望する施設も見られた。

9.2 今後企画してほしい内容を具体的に記入して下さい

以下のような意見があった。

- 腹部エコー (基礎講座)
- 初級心エコー研修
- 乳腺超音波、NCV
- エコーハンズオン (頸動脈、心エコー等初心者用)
- エコーハンズオン (甲状腺、下肢血管)
- 神経伝導検査、脳波
- 生化学、免疫
- 認知症指定講習B、遺伝子検査実習
- マルク検査 (運用も含めて)、各測定機器の特徴や機種間差について、認定試験や1、2級臨床検査士試験対策、R-CPC、共用基準範囲採用に向けての各施設の取り組み
- 病院内での各種委員会 (感染、医療安全、輸血、ICT) での検査技師の具体的な業務内容についてや、大規模、中規模、小規模別でどこまで行うのが理想か等、検査業務以外にも企画して欲しいです (当院ではこのように感染対策していて、その中で検査技師としてこのようなことをしています等、いろいろな病院での取り組みが聞けたらと思います)
- 中小病院に向けた広く浅い内容で再検基準やパニック値の取り扱い、反応曲線の見方など、すべての分野での基本講座を開いて欲しい
- 管理者として必要な知識が習得できる研修会 (書類の書き方、人材育成、財務、企画立案など)
- 監督職 (主任クラス) 向けの研修会を企画して欲しい (目的: 管理運営を学ぶきっかけ作り)
- コミュニケーションやコーチングスキル等 (一般の方にも)、医療者、管理者になるためのスキル研修
- 新人教育 (技師としてではなく、社会人としての)
- 接遇研修

設問10. 愛臨技が取り組むべき活動やその他ご意見があればお書きください

以下のような意見が寄せられた。

- 関西、関東に比べ勉強会が少なすぎる
- 研修会の開催日が各部門で同日が多いので考えて欲しい
- 研修会を同じ内容で複数回開催することは無理ですか?
- 研究班による「振り返り基礎」があるといいと思います (新人じゃない人、ベテラン技師でも実は気づいてないこと、間違ってる覚えていること、新しく改訂された内容を確認できる)
- 大規模病院は精度管理や病棟検査など積極的に実施していると思いますが、小規模病院は難しかったりするので、小規模病院向けの勉強会等をして欲しいです
- 当院では習得できない検査のサポート
- レクリエーション的なイベントよりは学術的なイベントを強化して頂きたい。他施設がどのように考えて検査室を運営しているか情報が欲しい (検査部門の振り分け (人員分け)、スタッフ間差の出来ないような教育体制 (正社員とパートなど))
- 分析から健康行動の変容に少しずつ切り替えていく必要はなかろうか? 検査結果の説明もその一つ。もっと外へ飛び出しているのでは? 各職種とのコラボで
- 看護師教育の中のラダーのように各段階での取得目標について (例えば・新人サポート研修、・2~3年、・10年、・20年)。今後検査技師の比率がどんどん女性に傾いていくことが想像されます。女性に限らず管理職も形が変わってくると思います。何か道筋、道標になることを希望します
- 幅広い年代、幅広い人材が参加しやすい技師会運営をして下さい。愛知県臨床検査技師長協議会もいろいろ支援させていただきます

【結 語】

この度はご多忙の中、アンケート回答にご協力頂きました163施設の方々に深く御礼申し上げます。昨年、「医療法等の一部を改正する法律」が国会で成立し、検体検査の精度の確保についての規定がされました。精度管理の重要性は今後さらに増してきます。

また、「検体採取等に関する厚労省指定講習会」、「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を受講された方も多いと思いますが、これらに加え病棟検査や認知症検査といった分野でも臨床検査技師の活躍が求められてきています。しかしながら、今回の調査では臨床検査技師の業務拡大が未だ日常業務においては十分に反映されていない状況にあるというアンケート結果でした。今後さらに臨床検査技師の業務についてPRに努めなくてはなりません。

ご意見やご要望に関しては研修会、勉強会につい

てのご要望が多かったのですが、今後の愛臨技で実施する行事に反映できるか否かを検討させていただきます。

今後とも会員諸氏のご指導、ご鞭撻をお願いするとともに、有意義な技師会活動を実践するためにご協力頂くよう宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 組織部

牛田 展浩¹⁾、矢田 啓二²⁾、南里 隆憲³⁾、
白石 了三⁴⁾、迫 欣二⁵⁾、大橋 功男⁶⁾、
後藤 慎一⁷⁾、池山 真治⁸⁾、平田 基裕⁹⁾、
長谷川 義幸¹⁰⁾、伊藤 友一¹¹⁾、中根 生弥¹²⁾

¹⁾ 宏潤会だいでうクリニック

²⁾ 国立病院機構名古屋医療センター

³⁾ 名古屋市立東部医療センター

⁴⁾ 半田市医師会健康管理センター

⁵⁾ 厚生連知多厚生病院

⁶⁾ 春日井市健康事業団春日井市保健センター

⁷⁾ 春日井市民病院

⁸⁾ NPO法人健康情報処理センターあいち

⁹⁾ 青山病院

¹⁰⁾ 名古屋市立大学病院

¹¹⁾ 岡崎市民病院

¹²⁾ 厚生連豊田厚生病院



學術部研究班記錄

微生物検査研究班

《講演会》

日 時：平成29年11月25日（土）15：30～18：00

場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟3階
第2講義室

参加者：84名

テーマ：臨床微生物検査のUp-to-Date 2017
～菌力アップトレーニングも含めて～

講 師：東京医科大学 微生物学講座 大楠 清文

司 会：刈谷豊田総合病院 藏前 仁

教科分類：専門教科 20点

《基礎講座》

日 時：平成29年10月28日（土）13：00～17：00

平成29年10月29日（日）9：00～13：00

場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟3階
第1講義室・実習室

参加者：59名

テーマ：耐性菌検出におけるPDCAサイクル
～作業は地味だが役に立つ！～

講 師：1) 薬剤耐性菌発見の最初の入口
腸内細菌科細菌の自然耐性について
豊橋市民病院 山本 優

2) 各種耐性機構と感受性試験結果の特徴
-ESBLとAmpC-
名古屋第一赤十字病院 美濃島 慎

3) カルバペネマーゼについて
公立陶生病院 位田 陽史

4) 耐性菌検出のPDCAサイクル
-耐性菌検査法の実際-
名古屋第二赤十字病院 原 祐樹

5) 実習のまとめ・ねらい
愛知医科大学病院 坂梨 大輔

実務委員：微生物検査研究班班員

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日 時：平成29年4月1日（土）15：30～18：00

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階
リップルスクエア

参加者：63名

テーマ：学会レビュー

講 師：1) DPS192iXを使用した迅速薬剤感受性
試験に関する基礎的検討
名古屋第二赤十字病院 原 祐樹

2) 各MALDI-TOF MSを用いた糸状菌の
On-plateギ酸処理法に関する検討

刈谷豊田総合病院 松井奈津子

3) 各基幹病院におけるin-house耐性遺伝
子検査の臨床的有用性～感染制御の観
点から～

愛知医科大学病院 坂梨 大輔

4) 各感染対策に貢献するPOCTの現状と
今後の課題

JA愛知厚生連江南厚生病院

舟橋 恵二

司 会：JA愛知厚生連江南厚生病院 河内 誠

刈谷豊田総合病院 藏前 仁

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日 時：平成29年7月1日（土）15：30～18：00

場 所：名古屋市立大学医学部研究棟11階
講義室A

参加者：113名

テーマ：皆で考える耐性菌検査

～今日からわかる！できる！～

講 師：1) 基本に立ち返る！初心者のための耐性
菌講座

小牧市民病院 西尾美津留

2) 各皆はどうやっているの？

耐性菌検出と報告の実際

JA愛知厚生連足助病院 古井 清

JA愛知厚生連豊田厚生病院

永田 悠起

3) 各こんな時どうしよう？

耐性菌ケースカンファレンス

JA愛知厚生連江南厚生病院

河内 誠

司 会：刈谷豊田総合病院 藏前 仁

名古屋第一赤十字病院 美濃島 慎

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

（精度管理報告会）

日 時：平成30年2月17日（土）15：30～18：00

場 所：名城病院 地下大会議室

参加者：73名

テーマ：技術と情報発信の精度保証を考える

講 師：1) 平成29年度愛臨技精度管理報告

名古屋第二赤十字病院 原 祐樹

2) 各耐性菌検出と抗菌薬適正使用支援

JA愛知厚生連江南厚生病院

河内 誠

3) 各抗菌薬適正使用に向けた多職種の活躍

刈谷豊田総合病院 佐藤 浩二

刈谷豊田総合病院 佐原 祥子

刈谷豊田総合病院 天野ともみ

司 会：刈谷豊田総合病院 藏前 仁

教科分類：基礎教科 20点

血液検査研究班

《講演会》

日 時：平成29年8月19（土）15：00～17：30

場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟3階
第1講義室

参加者：80名（会員77名 賛助会員1名 その他2名）
テーマ：新生児期から小児期特有の病態と検査について

講 師：1. 安城更生病院内におけるNICU専任技師としての役割

JA愛知厚生連 安城更生病院

杉山 大輔

講 師：2. 「NICUにおける医療の実際と関連する血液検査データの見方

名古屋大学医学部附属病院

村松友佳子

講 師：3. 小児骨髄不全症の形態診断

名古屋大学医学部附属病院

濱 麻人

司 会：名古屋大学医学部附属病院 山本ゆか子

教科分類：専門教科 20点

《基礎講座》

日 時：平成30年1月21日（日）9：30～16：30

場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟3階
第1講義室

参加者：会員59名

テーマ：初心者向け血液像の見方

講 師：1. 顕微鏡の正しい使い方

オリンパス株式会社 岡留 竜弥

2. 末梢血液標本の作成から末梢血液細胞鑑別の基礎

JA愛知厚生連 江南厚生病院

川崎 達也

司 会：愛知医科大学病院

今井 正人

実 習：3. 顕微鏡実習 血液検査研究班班員

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日 時：平成29年5月20（土）15：00～17：30

場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟3階
第1講義室

参加者：会員94名

テーマ：1. 採血室の運用管理「患者満足度を上げるには」

2. 体腔液とは何？検体の扱い方から標本（細胞）の見方・考え方まで

講 師：1. 名古屋大学医学部附属病院

梶浦 容子

2. 豊橋市民病院

内田 一豊

司 会：豊橋市民病院

近藤 由香

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日 時：平成29年11月18（土）15：00～17：00

場 所：（株）スズケン名古屋支店2階 会議室

参加者：会員41名

テーマ：凝固検査について

講 師：1. 「クロスミキシングテストが有用であった症例報告」

藤田保健衛生大学病院 佐藤 聖子

講 師：2. 検査技師に必要な新規経口抗凝血薬の情報と対策

アイ・エル・ジャパン株式会社

阪田 敏幸

司 会：JA愛知厚生連 海南病院

湯上小百合

教科分類：専門教科 20点

《愛臨技精度管理事業》

日 時：平成30年2月17（土）15：00～17：00

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階
リップルスクエア

参加者：会員74名

テーマ：1. 平成29年度愛臨技精度管理調査報告

2. フローサイトメトリー検査について

講 師：1. 血球計数部門報告

豊田厚生病院

酒巻 尚子

形態部門報告

愛知医科大学病院

寺島 舞

2. 造血器腫瘍におけるFCM検査について

株式会社エスアールエル

前田久美子

司 会：名古屋大学医学部附属病院

亀山なつみ

教科分類：基礎教科 20点

生物化学分析検査研究班

《講演会》

日 時：平成29年12月2日（土）15：00～17：00

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階
リップルスクエア

参加者：108名

テーマ：検査データをどうよむか
～技師目線、医師目線から考える～

講 師：

1. 藤田保健衛生大学医学部血液内科学講座
稲熊 容子
2. 藤田保健衛生大学病院臨床検査部 齊藤 翠
司 会：公立西知多総合病院 山内 昭浩
藤田保健衛生大学病院 藤田 孝

教科分類：専門教科20点

《研究会》

日 時：平成29年4月1日（土）14：30～17：00

場 所：(株)スズケン名古屋支店2階 会議室

参加者：45名

テーマ：移植医療の現状

講 師：

1. 誰でも始められる免疫抑制剤のTDM
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 寺田 彩子
2. 臓器提供の流れと実際
公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク
後藤 清美
藤田保健衛生大学病院 加藤 櫻子
司 会：名古屋大学医学部附属病院 有馬 武史
愛知医科大学病院 大坪 弘明

教科分類：専門教科20点

《研究会》

日 時：平成29年7月1日（土）15：00～17：00

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階
リップルスクエア

参加者：95名

テーマ：肝疾患バイオマーカーの活用

講 師：

1. 肝機能に関わる検査データの読み方
豊橋市民病院 森下 拓磨
2. 肝線維化マーカー M2BPGiの有用性
名古屋大学医学部附属病院 有馬 武史
3. “肝疾患病態指標糖鎖バイオマーカー M2BPGi”
の開発
シスメックス株式会社 中林 一樹

4. 肝線維化マーカー M2BPGiの最新の話と今後の可能性について

シスメックス株式会社 松木 信行
司 会：名古屋掖済会病院 岡本 明紘
名古屋第一赤十字病院 服部 拓哉
教科分類：専門教科20点

《研究会》

日 時：平成30年2月3日（土）15：00～17：00

場 所：(株)カーク本社ビル5階 大会議室

参加者：75名

テーマ：平成29年度愛臨技精度管理報告

免疫チェックポイント阻害薬について

講 師：

1. 臨床化学部門 精度管理報告
厚生連江南厚生病院 林 克彦
愛知医科大学病院 森部 龍一
2. 免疫血清部門 精度管理報告
名古屋掖済会病院 岡本 明紘
3. 免疫チェックポイント阻害薬
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
矢野 邦明
司 会：厚生連渥美病院 蜂須賀靖宏
厚生連豊田厚生病院 高井 美帆

教科分類：基礎教科20点

病理細胞検査研究班

《講演会》

日 時：平成29年12月9日（土）15：00～17：00

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階
リップルスクエア

参加者：44名

テーマ：知っておきたい、消化器内視鏡と画像診断
講 師：

1. 消化管腫瘍に対する内視鏡診断と治療
名城病院 消化器内科 内視鏡部長代行
水谷 太郎
 2. 画像診断の基礎
名古屋大学大学院 医学系研究科
医療技術学専攻 医用量子科学講座
島本佳寿広
- 司 会：名古屋大学大学院 医学系研究科
橋本 克則

教科分類：専門教科20点

《基礎講座》

日 時：平成29年10月22日（日）9：00～16：00

場 所：名古屋大学医学部保健学科 講義室
参加者：59名

テーマ：免疫染色の基礎

講 師：

1. 免疫染色における検体の取り扱い
愛知県がんセンター中央病院 柴田 典子
 2. 肺癌におけるPD-L1検査の意義と
免疫染色精度管理の重要性
アジレント・テクノロジー株式会社
中川加奈子
 3. 免疫染色のコツ
小牧市民病院 藤田 智洋
- 実 習：迅速免疫染色と電界攪拌染色装置
西尾市民病院 中村 広基
司 会：名城病院 橋村 正人
- 教科分類：専門教科20点

《研究会》

日 時：平成29年5月13日（土）15：00～17：00

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階
リップルスクエア

参加者：46名

テーマ：細胞診の精度管理

講 師：

1. 検査センターにおける精度管理の取り組み
株式会社東海細胞研究所 牛丸 一樹

2. 日本臨床細胞学会認定施設の精度管理
JA愛知厚生連 豊田厚生病院 末武 祐介
 3. 正しい細胞判定をするための標本作成
中部労災病院 宮地 努
- 司 会：医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
中根 昌洋
- 教科分類：専門教科20点

《研究会》

日 時：平成29年9月9日（土）15：00～18：00

場 所：名古屋第二赤十字病院 研修ホール
参加者：109名

テーマ：造血器腫瘍（リンパ系腫瘍）における血液
検査及び病理検査

講 師：

1. 骨髓像の読み方 造血器腫瘍を中心に
豊橋市民病院 近藤 由香
 2. 造血器腫瘍の細胞像・組織像
藤田保健衛生大学病院 川島 佳晃
 3. フローサイトの基礎
豊橋市民病院 内田 一豊
 4. 造血器腫瘍（リンパ系腫瘍）における染色体検
査
SRL株式会社 高森 栄一
- 司 会：名古屋第二赤十字病院 長田 裕之
- 教科分類：専門教科20点

《研究会》

日 時：平成30年2月10日（土）15：00～17：00

場 所：(株)カーク本社ビル5階 大会議室
参加者：58名

テーマ：平成29年度愛臨技精度管理調査報告

講 師：

1. 精度管理調査報告 細胞部門
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
中根 昌洋
 2. 精度管理調査報告 病理部門
公立陶生病院 柚木 浩良
 3. 病理医による組織診断の進め方
独立行政法人労働者健康安全機構
旭労災病院 病理診断科部長 小野 謙三
- 司 会：名城病院 橋村 正人
公立陶生病院 柚木 浩良
- 教科分類：基礎教科20点

生理検査研究班

《講演会》

日時：平成29年9月23日（土）15：00～17：00

場所：独立行政法人国立病院機構
名古屋医療センター講堂

参加者：93名

テーマ：最新の肝臓病診療と治療

講師：

1. 肝臓病の基礎
愛知医科大学病院 塚本実奈子
2. 臨床検査技師が知っておきたい肝臓病の今
愛知医科大学病院 肝胆膵内科教授

伊藤 清顕

司会：JCHO中京病院

加藤 鮎美

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日時：平成28年7月15日（土）15：00～17：00

場所：名古屋市立大学医学部研究棟11階
講義室B

参加者：141名

テーマ：超音波の基礎

講師：東芝メディカルシステムズ 濱滝 寿伸

司会：津島市民病院 山梶 恵美

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日時：平成28年8月19日（土）15：00～17：00

場所：名古屋市立大学医学部研究棟11階
講義室A

参加者：127名

テーマ：24時間心電図と心臓植え込み型デバイス

講師：

1. 24時間心電図の基礎
碧南市民病院 山田 裕香
2. 心臓植え込み型デバイスにおける治療について
セントジュードメディカル（株） 渡部 巧

司会：JA愛知厚生連渥美病院 鋤柄 冴美

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日時：平成28年11月18日（土）15：00～17：00

場所：名古屋大学医学部基礎研究棟3階
第1講義室

参加者：111名

テーマ：生理検査における感染対策のキホン

講師：

講義1 生理検査室における感染対策の実際

1. 心電図検査における感染対策の実際
名古屋大学医学部附属病院 榎原久美子
2. 脳神経検査における感染対策の実際
名古屋市立大学病院 久富 一毅
3. 超音波検査における感染対策の実際
愛知医科大学病院 塚本 実奈子

講義2 イチから始める感染対策の基本

愛知医科大学病院感染制御部 宮崎 成美

司会：JA愛知厚生連江南厚生病院 柴田 康孝

教科分類：専門教科 20点

《基礎講座》

日時：平成29年12月3日（日）9：30～17：00

場所：藤田保健衛生大学
生涯教育研修センター棟2号館4階

参加者：85名

テーマ：呼吸機能検査の基本的知識・手技を
身につけよう！

講師：

1. VC・FVCについて
赤羽乳腺クリニック 山口 温子
2. FRC・DLcoについて
JA愛知厚生連海南病院 樋口 昌哉
3. 呼吸機能検査のデモンストレーション
公立陶生病院 大竹 悦子

ランチョンセミナー：

最新のスパイロメーターについて

フクダ電子中部販売（株） 村田 丈治

呼気NO検査とナイオックスVERO

チェスト（株） 五十嵐耕司

実習：

1. 簡易機器にてキャリブレーションのとり方
VC・FVC実施
2. 精密機器にてFRC・DLco実施

司会：愛知医科大学病院 塚本実奈子

西尾市民病院 鈴木 更織

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日時：平成29年1月20日（土）15：00～17：00

場所：名古屋大学医学部基礎研究棟3階
第1講義室

参加者：77名

テーマ：術中モニタリング～基礎から症例へ～

講師：

1. 術中モニタリングの基礎
西尾市民病院 鈴木 更織
2. 術中モニタリング応用編 ～症例を中心に～
名古屋大学医学部附属病院

大熊 相子
司 会：総合大雄会病院 西谷由美子
教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日 時：平成29年2月10日（土）15：00～17：00

場 所：豊田厚生病院 2階講義室

参加者：56名

テーマ：平成29年度愛臨技サーベイ解説

講 師：

1. 愛臨技精度管理調査報告 総括
豊橋市民病院 手嶋 充善
2. 心電図検査
名古屋血管外科クリニック 野呂 美幸
3. 腹部・表在超音波検査
愛知医科大学病院 塚本実奈子
4. 心・血管超音波検査
安城更生病院 犬塚 齊
5. 脳神経検査
総合大雄会病院 西谷由美子
6. 呼吸機能検査
東海記念病院 宮田 真希

司 会：豊橋市民病院 手嶋 充善
教科分類：基礎教科 20点

一般検査研究班

《講演会》

日時：平成29年12月9日（土）15：00～17：00

場所：名古屋第二赤十字病院
3病棟1階研修ホール

参加者：62名

テーマ：救急外来での検査
～確定診断までの道のり～

講師：名古屋第二赤十字病院
第二総合内科部長 横江 正道

テーマ：尿沈渣から考える病態診断

講師：藤田保健衛生大学医療科学部 星 雅人

司会：名古屋第二赤十字病院 安土みゆき

教科分類：専門教科20点

《基礎講座》（認定一般検査技師指定講習会）

日時：平成29年11月19日（日）9：30～16：30

場所：名古屋市立大学医学部研究棟
11階講義室A

参加者：76名

テーマ：基礎を学ぼう一般検査!!初心者歓迎!!
日当直に役立つ髄液検査・尿検査の基礎

《午前》

I. 講演

1) 髄液検査の基礎
碧南市民病院 包原 久志

2) 異型細胞の見方
JA愛知厚生連 豊田厚生病院 鈴木 康太

3) 赤血球について～形態の見方から症例まで～
医療法人青山病院 平田 基裕

司会：藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
進藤龍太郎

JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 蜂須 大輔

国家公務員共済組合連合会名城病院
池崎 幸司

《午後》

II. 髄液・尿沈渣鏡検実習

III. グループディスカッション

教科分類：専門教科20点

《研究会》

日時：平成29年5月13日（土）15：30～17：30

場所：だいどうクリニック5階講堂

参加者：48名

テーマ：平成28年度学会発表会

講師：

1. 尿分取装置UA・ROBO-2000の導入・運用につ

いて

JA愛知厚生連江南厚生病院 伊藤 康生

2. 髄液メイ-ギムザ染色標本により、多発性骨髄腫の中樞神経浸潤を診断し得た1例

JA愛知厚生連海南病院 白根 優里

3. 当院における大腸癌健診陽性者の追跡調査報告
公立西知多総合病院 服部 聡

4. 尿路感染症における尿定性、尿沈渣検査の有用性について
藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院

進藤龍太郎

5. 多項目自動血球分析装置XNシリーズを用いた腹水・胸水の基礎的検討～細胞分類について～
JA愛知厚生連豊田厚生病院 鈴木 康太

6. 尿沈渣標本の長期保存方法の検討-I
-新規尿沈渣封入液の開発と保存性について-
尿沈渣標本の長期保存方法の検討-II
-各種尿沈渣成分の保存性と改善点-

藤田保健衛生大学医療科学部 星 雅人

7. 尿中卵円形脂肪体出現の意義について
～血清蛋白/尿蛋白比 (TP/UP)および血清蛋白/コレステロール比 (TP/CHO)からの考察～

稲垣 勇夫

司会：碧南市民病院 包原 久志

教科分類：専門教科20点

《研究会》

日時：平成29年7月9日（日）10：00～16：30

場所：名古屋市立大学医学部本部棟4階ホール

参加者：109名

テーマ：「初心者歓迎!! 日当直に役立つ尿沈渣の基礎」

1) 尿検査の基礎 公立西知多総合病院
服部 聡

2) 赤血球・白血球の見方
藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
進藤龍太郎

3) 上皮細胞の見方
JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 蜂須賀大輔

4) 円柱の見方
JA愛知厚生連 江南厚生病院 伊藤 康生

5) 結晶その他の見方
国家公務員共済組合連合会 名城病院

池崎 幸司

司会：豊川市民病院 永井 君子

特定医療法人衆済会 増子記念病院

平田 弘美

教科分類：専門教科：20点

《研究会》

愛臨技精度管理事業

日 時：平成30年2月10日（土）15：30～17：30

場 所：名城病院 地下大会議室

参加者：57名

テーマ：平成29年度愛臨技精度管理調査報告会

講 師：名古屋大学医学部附属病院 岩崎 卓識

医療法人青山病院 平田 基裕

社会医療法人明陽会 成田記念病院

望月 里恵

司 会：名古屋大学医学部附属病院 岩崎 卓識

教科分類：基礎教科20点

輸血検査研究班

《講演会》

日時：平成29年12月9日（土）15：00～17：30

場所：名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂

参加者：115名

テーマ：D I C と輸血

講演1：D I C の病態とA T療法

一般社団法人 日本血液製剤機構

東海統括部 山田 雄也

講演2：アコアラン（リコンビナントA T）の使用
経験

藤田保健衛生大学病院 磯貝 聡衣

特別講演：D I C と輸血

金沢大学 医薬保健研究域 保健学系

病態検査学 教授 森下英理子

司会：日進おりど病院 小木曾美紀

教科分類：専門教科 20点

《基礎講座》

日時：基本コース：平成29年7月29日（土）

14：00～17：30

応用コース：平成29年7月30日（日）

9：00～17：00

場所：名古屋市立大学医学部 基礎研究棟

参加者：基本コース：54名

応用コース：65名

テーマ：実技講習会

「輸血検査のテクニックを学び、現場で生
かそう！！」

講師：基本コース

名古屋掖済会病院 佐藤 仁美

応用コース

愛知医科大学病院 片井 明子

実務委員：輸血検査研究班班員

教科分類：基本コース 専門教科 20点

応用コース 専門教科 20点

《研究会》

日時：平成29年5月13日（土）15：00～17：30

場所：藤田保健衛生大学 生涯教育研修センター

棟2号館 1F 101講義室

参加者：170名

テーマ：日当直時に困らない

輸血検査・業務を整理しよう！！

講演1：血液型検査について整理しよう！！

JA愛知厚生連 海南病院 沖 かずよ

講演2：不規則抗体検査と交差適合試験について整
理しよう！！

名古屋第一赤十字病院 村上 和代

講演3：緊急輸血の対応について整理しよう！！

愛知県がんセンター中央病院 早川 英樹

司会：JA愛知厚生連 豊田厚生病院

木村 有里

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日時：平成29年11月18日（土）15：00～17：30

場所：アーバンネット名古屋ビル 20F

リップルスクエア

参加者：138名

テーマ：症例検討会

『輸血しないとイケないのに!!

こんな時どうする?』

講演1：不規則抗体保有患者に緊急輸血!!

豊川市民病院 沖松 秀美

講演2：大量輸血で在庫がない!!

JA愛知厚生連 江南厚生病院

吉本 一恵

講演3：血液型が前回と違う!!

JA愛知厚生連 豊田厚生病院

木村 有里

司会：碧南市民病院

浜子 宗子

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

（精度管理報告会）

日時：平成30年2月10日（土）15：00～17：30

場所：愛知医科大学本館 3F 301講義室

参加者：70名

テーマ：輸血業務の精度管理を再考しよう！！

講演1：平成29年度精度管理調査報告

春日井市民病院 神野 洋彰

講演2：血液センターにおける精度管理

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

加藤 静帆

講演3：輸血業務に必要な精度管理

（前）大阪大学医学部附属病院 輸血部

押田真知子

司会：JA愛知厚生連 江南厚生病院

原田 康夫

教科分類：基礎教科 20点

遺伝子・染色体検査研究班

《講演会》

日 時：平成29年7月8日（土）15：00～17：00

場 所：名古屋第二赤十字病院 1病棟10階

加藤化学記念カンファレンスホール

参加者：34名

テーマ：リキッドバイオプシーによる遺伝子検査

講 師：1. 「血漿を用いた遺伝子検査コバス
EGFR v2.0」

ロシュ・ダイアグノスティックス株式
会社 武重 香澄

2. 「リキッドバイオプシーによるクリニ
カルシーケンス」

近畿大学医学部ゲノム生物学教室

坂井 和子

3. 「BEAMing法を中心としたLiquid
Biopsyの最新知見、および、臨床検査
への展望」

シスメックス株式会社 好岡美津子

司 会：(有)胎児生命科学センター 長屋 清三

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日 時：平成29年5月20日（土）15：00～17：00

場 所：(株)カーク本社ビル5階 会議室

参加者：50名

テーマ：輸血検査に関する遺伝子検査 初心者編

講 師：1. 輸血用血液の安全性向上のための検査
～NAT～

東海北陸ブロック血液センター品質部
検査二課 後藤 康仁

2. HLAの遺伝子型検査技術のご紹介
～Luminex[®]を用いたPCR-rSSO法を
中心に～

株式会社 医学生物学研究所学術部
診断薬グループ 武安 岳史

司 会：安城更生病院 牧 明日加

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日 時：平成29年12月9日（土）15：00～17：00

場 所：(株)スズケン名古屋支店 2階会議室

参加者：31名

テーマ：遺伝子検査を巡る診療報酬、診断薬の現状

講 師：1. 「CDxの現状と課題 -EGFR変異検査
の保険点数と運用-」

ロシュ・ダイアグノスティックス株式

会社

遺伝子診断事業部 林 海美子

2. 「肺癌治療におけるPD-L1検査の役割」

MSD株式会社

オンコロジーメディカルアフェアーズ

縄田 寿克

司 会：名古屋第二赤十字病院

岩田 英紘

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

日 時：平成30年1月13日（土）15：00～17：00

場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟第3講義室

参加者：23名

テーマ：治る病気へ！昨今のHCV治療と検査

講 師：1. 最適な治療のためのHCV遺伝子検査」

刈谷豊田総合病院 伊藤 英史

2. 最近のHCV治療について」

名古屋大学医学部附属病院消化器内科

講師 林 和彦

司 会：名古屋大学医学部附属病院 渡邊かなえ

教科分類：専門教科 20点

《研究会》

(遺伝子染色体・生殖検査研究班合同研究会)

日 時：平成30年2月3日（土）15：00～17：00

場 所：(株)スズケン名古屋支店 2階会議室

参加者：34名

テーマ：胎児エコーと遺伝カウンセリング

講 師：1. 藤田保健衛生大学病院 臨床検査部

古川 博

2. 藤田保健衛生大学医療科学部

臨床検査学科 大江 瑞恵

司 会：藤田保健衛生大学病院

古川 博

教科分類：専門教科 20点

生殖医学検査研究班

《講演会》

日 時：平成29年4月8日（土）15：30～17：00

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階
リップルスクエア

参加者：35名

テーマ：夫婦円満セミナー

「夫婦を救う言葉を知っていますか？」

講 師：夫婦再生カウンセリング名古屋

代表 下木修一郎

司 会：小牧市民病院 藤田 京子

教科分類：専門教科20点

《研究会》

日 時：平成29年7月1日（土）15：30～17：00

場 所：藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院

参加者：15名

テーマ：胚の凍結

講 師：豊橋市民病院 鈴木 範子

オリジオ・ジャパン株式会社 千葉 誠

司 会：竹内産婦人科 榊原 重久

教科分類：専門教科20点

《研究会》

(遺伝子染色体研究班・生殖研究班合同研究班)

日 時：平成30年2月3日（土）15：00～17：00

場 所：(株)スズケン名古屋支店2階 会議室

参加者：34名

テーマ：胎児エコーと遺伝カウンセリング

講 師：

1. 「生殖医療の関心事

～染色体異常と胎児超音波画像～」

藤田保健衛生大学病院 古川 博

2. 「羊水培養細胞を用いたマイクロアレイ

染色体検査と遺伝カウンセリング」

藤田保健衛生大学病院 大江 瑞恵

司 会：藤田保健衛生大学病院 古川 博

教科分類：専門教科20点

学術部

《新人サポート研修会Ⅰ》

日 時：平成29年5月28日（日）9：00～17：20

場 所：名古屋大学医学部 基礎医学研究棟4階
第4講義室

参加者：168名

テーマ：『学びを力に変える！実践力アップの基礎
とコツ』

【午前の部】

1. 感染症関連のPOCTについて
愛知医科大学病院 宮崎 成美
2. 新人が実践で役立つ血液検査
刈谷豊田総合病院 林 直樹
3. 新人が実践で役立つ凝固検査
グッドライフデザイン株式会社 加藤 太一
4. 生化学・免疫検査における緊急検査とは？
～なぜ急ぐ必要があるのか？～
安城更生病院 蜂須賀靖宏
司 会：名古屋大学大学院 鈴木 博子

【ランチョンセミナー】

5. 日臨技・愛臨技・臨床検査技師連盟の紹介
愛臨技会長 相山 広美
司 会：愛臨技副会長 所 嘉朗

【午後の部】

6. 病理検体の取り扱いについて
名城病院 橋村 正人
 7. 心電図検査の心得
あいち肝胆膵ホスピタル 淀川 千尋
 8. 尿検査の基礎
公立西知多総合病院 服部 聡
司 会：愛知県がんセンター中央病院 所 嘉朗
 9. これだけは押さえておきたい輸血業務のコツ！
日進おりど病院 小木曾美紀
 10. これだけは押さえておきたい遺伝子検査の検査
前プロセス
名古屋大学医学部附属病院 渡邊かなえ
 11. 生殖補助医療の基礎～生殖補助医療とは～
豊田厚生病院 三澤 千鶴
司 会：中部労災病院 中井 美千代
- 教科分類：基礎教科 20点

《スキルアップ研修会》

日 時：平成30年1月28日（日）9：00～16：50

場 所：名古屋市立大学医学部医学研究科・医学部

研究棟11階 講義室A

参加者：141名

テーマ：『救急病態と臨床検査を繋ぐ.Ⅱ』

【午前の部】

1. 血液ガスの判読と救急病態
ラジオメーター株式会社 三沢 泰一
司 会：名古屋大学大学院 鈴木 博子
2. 症例検討
症例検討コメンテーター
公立陶生病院 位田 陽史
藤田保健衛生大学病院 西垣 亮
JA愛知厚生連 海南病院 樋口 昌哉
増子記念病院 平田 弘美
藤田保健衛生大学病院 松浦 秀哲
JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 蒲澤 康晃

症例1「意識がない?!」

司 会：中部労災病院 中井美千代

【ランチョンセミナー】

3. 輸血検査のトラブルシューティング]
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
株式会社 齋藤 大輔

【午後の部】

4. 症例検討
症例検討コメンテーター 症例1と同じ
症例2「意識がない?!」
司 会：名古屋大学大学院 鈴木 博子
 5. 特別講演「意識障害：救急医が考えること」
名古屋市立東部医療センター 救急科部長
安藤 雅樹
司 会：愛知県がんセンター中央病院 所 嘉朗
- 教科分類：専門教科 20点



会員業績集

論文

平成29年度

筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者
加藤 千秋	日本輸血細胞治療学会誌	63	4	585~591	全自動輸血検査システム ORTHO VISIONを使用した抗体価測定	渡邊 友美・遠藤比呂子 松下 正
Yutaka Sasaki	Acta Radiologica			In press	Measurements of renal shear wave velocities in chronic kidney disease patients	Yoshiki Hirooka, Hiroki Kawashima, Takuya Ishikawa, Kyosuke Takeshita, Hidemi Goto
内田 明美	臨床検査	61	10	1194~1202	努力をしない呼吸機能検査 呼吸インピーダンス測定	松原 宏紀・伊藤 理
Ryosuke Kikuchi	Clin. Chim. Acta	475		102~108	Urinary and circulating levels of the anti-angiogenic isoform of vascular endothelial growth factor-A in patients with chronic kidney disease.	Yasuda Y, Nakatochi M, Shibata Y, Hara T, Suzuki A, Imaizumi T, Suzuki S, Ishii H, Takeshita K, Matsushita T, Maruyama S, Murohara T
Ryosuke Kikuchi	Clin. Chim. Acta	478		114~119	Balance between angiogenic and anti-angiogenic isoform of VEGF-A is associated with the complexity and severity of coronary artery disease	Shibata Y, Ishii H, Suzuki S, Harada K, Hirayama K, Suzuki A, Tatami Y, Kondo K, Murohara T
Ryosuke Kikuchi	Int. J. Cardiol. Heart. Vasc	19		3~7	Association between the ratio of anti-angiogenic isoform of VEGF-A to total VEGF-A and adverse clinical outcomes in patients after acute myocardial infarction.	Harada K, Ishii H, Shibata Y, Suzuki S, Tanaka A, Suzuki A, Hirayama K, Murohara T
井関 文	医学検査	66	3	289~296	浸潤性小葉癌組織球様細胞亜型 (Histiocytoid breast carcinoma) の1例	畠 榮・加藤 克幸 小林 晴美・原 稔晶 下山 芳江・中村 栄男 松下 正
青山 和史	人間ドック学会会誌	32	4	51 (639)~56 (644)	喫煙歴がある人間ドック受診者における閉塞性換気障害の実態とCT所見との関連についての検討	森田 博紀・深津 満 山田 珠樹
梶山 広美	日本職業・災害医学会会誌	65	6	289~294	医療機関で働く女性の環境整備	
楠木 啓史	医学検査	67	1	23~28	生化学分析装置における血清重炭酸塩 (総CO2) の測定	川上 舞・高橋 圭司 宮澤 法子・藤本 洋平 小林 豊子・片山 孝文

筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者
中根 生弥	医学検査	66	4	364~368	臨床検査技師における鼻腔・咽頭からの検体採取への取り組み	高嶋 幹代・青山 敦子
中根 生弥	生物試料分析	40	3	143~144	序文：特集「徹底解明 免疫検査の現状と日常業務における利用価値」	
山森 雅大	医学検査	66	6	1~7	女性における血清レムナントリポ蛋白と動脈硬化との関連	永山 円・遠藤美紀子 加藤 敦美・堀田 美佐 前岡 悦子・加藤 秀樹 湯浅 典博
遠藤美紀子	医学検査	67	1	70~77	18年間に熱かった血液製剤100万単位の廃棄率と廃棄要因	遠藤美紀子・村上 代 榎本 和美・古賀江利加 恒川浩二郎・小澤 幸泰 加藤 秀樹・湯浅 典博
西山 秀樹	日本環境感染学会誌	33	1	15~23	発熱および高プロカルシトニン血症を伴う患者の短期予後予測因子	西山 秀樹・湯浅 典博 美濃 島慎・小澤 賀子 高坂久美子・黒野 康正 野村 史郎・宮村 耕一

出版物

平成29年度

氏名	書名	頁	題名	発行所
菊地 良介	検査と技術	12～14	VEGF-Aの「質」に着目した血管病評価への新しいアプローチ	医学書院
菊地 良介	検査と技術	1252～1253	研究のすゝめ・はじめに ～ Bedside to Bench, Bench to Bedside ～	医学書院
鈴木 敦夫	検査と技術	40～44	研究のすゝめ3 専門性を活かした現場研究への展開 Be a specialist, not a generalist	医学書院
弘津真由子	臨床検査	336～338	初めての国際学会を経験して	医学書院
平澤 浩	JAMT技術教本シリーズ 病理検査技術教本	14～18	バイオハザード対策	丸善出版
平澤 浩	細胞診断学入門 [第三版]	36～40	検体処理	名古屋大学出版会
平田 正敏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	254-260	6 睡眠時無呼吸症候群の検査 (成人・小児)	医学書院
山内 昭浩	臨床化学検査技術教本	273～279	臓器別データの解釈 感染症	丸善出版
中根 生弥	J A M T 技術教本シリーズ 臨床化学検査技術教本	245～251	臓器別データの解釈 5.3 心・血管疾患	丸善出版
加藤 雄大	日本臨床検査同学院 通信 第42巻 2017年3月	19	緊急臨床検査士資格認定試験 (平成28年) を受験・合格して	日本臨床検査同学院
永田 悠起	Medical Technology	178～179	OVERSEAS REPORT 第5回アジア医学検査学会 (AAMLS) に参加して	医試薬出版

学会・講演会・研修会

平成29年度

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
杉本 邦彦	第98回心エコーハンズオンセミナー	4月16日	ハンズオンセミナー	
皆元 裕子	第61回日本リウマチ学会	4月20日 ～22日	関節リウマチの診断における中足趾節間関節超音波の重要性	
長坂日登美	第61回日本リウマチ学会学術集会	4月20日 ～22日	臨床的寛解達成RAにおける関節エコー所見の検討	
内田 一豊	第8回シスメックス一般検査セミナー	4月22日	ギムザ染色と自動機器分析による細胞像の解析	
杉本 邦彦	美濃加茂循環器講習会	4月26日	見逃した！ではすまされない！虚血性心疾患の合併症	
服部 聡	愛知県臨床検査技師会一般検査研究班例会	5月13日	当院における大腸癌健診陽性者の追跡調査報告	加藤 節子・今井 律子 山内 昭浩
山下 愛	第60回日本糖尿病学会年次学術集会	5月18日 ～20日	当院における1, 5-AG併用の有用性の検証	杉浦有委美・植田 祐介 久保田勝俊・松原 優 梅村 壽夫・大岩 啓三
梶浦 容子	愛知県臨床検査技師会血液検査研究班研究会	5月20日	採血室の運用管理「患者満足度を上げるには」	
内田 一豊	血液検査研究会	5月20日	体腔液とは何？検体の扱い方から標本（細胞）の見方・考え方まで	
石川実枝子	平成29年度中部支部健康食品管理士研修会	5月21日	栄養管理における健康食品利用-急性期病院の栄養管理 ¹⁾ -トナム（NST）における栄養管理-	
深津 満	第90回日本超音波医学会	5月26日	臍管拡張と喫煙との関連について	和田 恒哉・山田 珠樹 野田 愛司・林 香月 加藤 皓大・井上 正朗
永井美佐子	第58回日本臨床細胞学会総会	5月26日 ～28日	多彩な細胞像を呈した多形腺腫由来癌の一例	
今井 律子	第58回日本臨床細胞学会 春期大会	5月27日 ～28日	スキルアップ講座（泌尿器）講師	
今井 律子	第58回日本臨床細胞学会 春期大会	5月27日 ～28日	スライドカンファレンス泌尿器出題	
杉山 博子	第90回日本超音波医学会	5月26日 ～28日	肝未分化癌の1例	西川 徹・朝田和佳奈 豆谷 果奈・刑部 恵介 市野 直弘・川部 直人 橋本 千樹・吉岡健太郎 杉本 邦彦・石井 潤一 山田 晶・尾崎 行男 伊藤さつき・東本文香 神野 真司・久保 仁美
田中梨紗子	第90回日本超音波医学会	5月26日 ～28日	発作性心房細動患者における電氣的肺静脈隔離術後の心房細動再発リスクについて	
内田 由香	第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会	5月26日 ～28日	三次救急での検査技師の役割について	

会員業績集

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
蓼沼 美砂	第90回日本超音波医学 会学術集会	5月26日 ～28日	小腸間膜に原発した血管脂肪腫の1例	前岡 悦子・佐藤 幸恵 二坂 好美・小島 祐毅 有吉 彩・内藤 美和 森本 博俊・湯浅 典博
服部 聡	愛知県臨床検査技師会 新人サポート研修	5月28日	尿検査の基礎	
鈴木 敦夫	第39回日本血栓止血学 会各術集会	6月8日～ 10日	合成基質法と凝固一段法による凝固第 Ⅷ因子製剤測定値の比較検討	鈴木 伸明・岸本摩由子 兼松 毅・小川 実加 松下 正
鈴木 敦夫	第39回日本血栓止血学 会各術集会	6月8日～ 10日	凝固波形解析による異常フィブリノゲ ン血症の新規検出法	岸本摩由子・兼松 毅 小川 実加・鈴木 伸明 松下 正
金 沙玲	GE Healthcare Ultrasound ユーザー の集い in 名古屋第 一赤十字	6月10日	頸動脈ガイドライン改定案について	笹木 優賢
笹木 優賢	第22回弘前超音波研究 会	6月10日	考えて行こう！ DVT超音波検査	
杉本 邦彦	第42回日本超音波検査 学会学術集会	6月16日	非リウマチ性僧帽弁狭窄症の評価	
金 沙玲	第42回日本超音波検査 学会学術集会	6月16日 ～18日	肺血栓塞栓症を合併した遺残坐骨静脈 血栓症の1例	笹木 優賢・弘津真由子 松原 宏紀・竹下 享典
笹木 優賢	第42回日本超音波検査 学会学術集会	6月16日 ～18日	当院における腎静脈エコーの現状	松原 宏紀・金 沙玲 弘津真由子・竹下 享典
弘津真由子	日本超音波検査学会学術 集会	6月16日 ～18日	大腿動脈内浮遊血栓を合併した膝窩静 脈venous aneurysmの1例	
長坂日登美	第42回日本超音波検査学 術集会	6月16日 ～18日	臨床的寛解を達成したりウマチ患者に おける関節エコー所見の検討	藤田 啓介・下竹美由紀 永田 篤志
神野 真司	第42回日本超音波検査 学会学術集会	6月16日 ～18日	ASE/EACVIによる拡張機能評価ガイ ドラインの妥当性について	杉本 邦彦・伊藤さつき 杉山 博子・高橋 礼子 久保 仁美・東本 文香 田中梨紗子・西川 徹
小島 克枝	第66回日本医学検査学 会	6月17日 ～18日	AFP-L3分画と肝細胞癌マーカーとの 比較	森下 拓磨・山岸ユリナ 山本 恵子・夏目佐江子 内田 悦子・内田 一豊
加藤 俊樹	第66回日本医学検査学 会	6月17日 ～18日	日当直における輸血業務研修の取り組 み	山内 昭浩・竹林 誠勝
内田 一豊	第66回日本医学検査学 会	6月17日 ～18日	シンポジウムⅢ 穿刺液 <穿刺液検 査の可能性（胸水・腹水を中心に）> 血液検査から見る穿刺液検査	
及川 彰太	第66回日本医学検査学 会	6月17日 ～18日	ABO血液型不適合腎移植における抗 A/抗B抗体価の後方視的検討	松浦 秀哲・杉浦 縁 松野 貴洋・磯貝 聡衣 藤田 孝・石川 隆志

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
中村 有見	第66回日本医学検査学会	6月17日 ～18日	当院における胎児超音波スクリーニング検査の現状	須藤 朋子・水谷 久美 平田 正敏・小原 知美
杉浦 縁	第65回日本輸血・細胞治療学会総会	6月21日 ～24日	抗体価検査における試験管法とカラム凝集法の差異の検討	伊藤 裕安・今枝 義博 松浦 秀哲・松野 貴洋 荒川 章子・及川 彰太 永田 梨奈・磯貝 聡衣 村松 知佳
服部 聡	愛知県診療放射線技師会 平成29年度第1回研修会	6月24日	検査データの基礎を学ぼう！～正常値と異常データ～	
加藤 櫻子	第30回脳死脳性学会	6月24日 ～25日	外国人ドナーの対策	
藤田 志保	第42回日本睡眠学会学術集会	6月29日 ～30日	PSGとCPAPログのAHIが乖離舌1症例	細田 奈未・福本 純一
平田 正敏	日本睡眠学会第42回定期学術集会	6月29日 ～30日	睡眠時無呼吸を疑い睡眠ポリグラフ検査をした患者の主訴と無呼吸の関係性の検討	西浦美代子・二村美早紀 今枝 義博
二村美早紀	日本睡眠学会第42回定期学術集会	6月29日 ～30日	小児閉塞型睡眠時無呼吸症の終夜睡眠ポリグラフ検査とOSA-18との関係についての検討	平田 正敏・西浦美代子 今枝 義博
有馬 武史	愛知県臨床検査技師会 生物化学分析検査研究班・研究会	7月1日	肝線維化マーカー M2BPGiの有用性	
西井智香子	シーメンス三重ヘマトロジーセミナー	7月1日	血算機特性と血液細胞形態のコミュニケーション	
大平 佳美	第57回心電図セミナー	7月1日	心電図セミナー	
永田 悠起	平成29年7月研究会	7月1日	皆はどうやっているの？耐性菌検出と報告の実際	
森下 拓磨	愛臨技研究会	7月1日	肝機能に関わる検査データの読み方	
杉本 邦彦	GE Ultrasound Summer Forum 2017	7月2日	僧帽弁膜症の評価	
西山 弥生	第35回東三河研究会	7月2日	ドキシソルビシンが原因と考えられた薬剤性心筋症の一例	片山知奈恵・牧原 汐里 宮内 里菜・長坂 和泉 手嶋 充善・鈴木 直美 林 久美子・三ツ矢康乃 山口 育男
杉浦 由季	第19回日本医療マネジメント学会学術総会	7月7日～ 8日	検査技師のノンテクニカルスキル向上のための取り組み	牧 俊哉・加藤 秀樹 湯浅 典博
恒川浩二郎	第19回日本医療マネジメント学会学術総会	7月7日～ 8日	一般検査室におけるインシデント解析	浅井 祥之・池上志乃富 山田雄一郎・加藤 秀樹 湯浅 典博
田中 浩一	第2回 中部圏認定病理検査技師会企画 病理技術研修会	7月8日	～そうだったのか！検体処理～ 「固定と伸展 検体処理」適切で切り出ししやすい固定標本を作るために	

会員業績集

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
内田 一豊	平成29年度 日本臨床細胞学会 東海連合会 基礎講座	7月9日	リンパ節	
服部 聡	愛知県臨床検査技師会 一般検査研究班研修会	7月9日	尿検査の基礎	
後藤 沙絵	第23回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	7月15日～16日	心肺運動負荷試験を用いた心臓リハビリテーションの有用性	倉田貴規・宮島悦子 牧 俊哉・加藤 秀樹 湯浅 典博・神谷 春雄
水谷 有希	第18回日本検査血液学会学術集会	7月21日～22日	異常封入体を有する多発性骨髄腫の一例	佐藤 聖子・大澤 道子 渡邊 文子・西井智香子
服部 光	第18回日本検査血液学会学術集会	7月22日～23日	欠失型PML-RARA mRNA変異を獲得した治療抵抗性の治療関連急性前骨髄性白血病の一例	梶浦 容子・石川 裕一 清井 仁・松下 正
内田 一豊	第18回日本検査血液学会学術集会	7月22日～23日	ワークショップ2「体腔液検査の現状と問題点—その3」～臨床医の立場からみた体腔液検査～症例：体腔液に見られたNeuroendocrine carcinomaの一例	鈴木 杏奈・近藤 由香
内田 一豊	第18回日本検査血液学会学術集会	7月22日～23日	骨髄異形成症候群に合併したランゲルハンス細胞肉腫の1例	鈴木 杏奈・近藤 由香
平松 和樹	第18回日本検査血液学会学術集会	7月22日～23日	自動血球計数装置DxH800における血小板凝集検体の検出能に関する検討	高山 由紀・浜子 宗子
山口 育男	第9回日本臨床微生物学会 地区研修会	7月22日～23日	病原体および患者検体の適正輸送および菌株保存について	
榊原 沙知	平成29年度 日本臨床細胞学会 東海連合会 基礎講座	7月23日	呼吸器	
杉本 邦彦	第28回JSS四国第28回地方会研修会	7月30日	心電図異常と超音波検査	
久野 貴弘	第28回東海・北陸支部総会	8月5日	冠動脈集中治療室におけるプレセプシン以上高値例の特徴	北川 文彦・武田 淳 中村 和広・鈴木 雅大 齊藤 翠・藤田 孝 石川 隆志・成瀬 寛之 石井 潤一
杉本 邦彦	第11回名古屋心エコーセミナー	8月6日	拡張能の評価	
山田 裕香	平成29年度 愛知県臨床検査技師会 生理検査研究会	8月19日	24時間心電図と心臓植え込み型デバイス	
齋藤 美保	第5回東海血管検査研究会	8月20日	眼虚血症候群の評価に頸動脈・眼動脈超音波検査が有用であった1例	笹木 優賢・弘津真由子 松原 宏紀・岩瀬 剛 寺崎 浩子
弘津真由子	第5回東海血管検査研究会	8月20日	大腿動脈内浮遊血栓を合併した膝窩静脈venous aneurysmの1例	笹木 優賢・齋藤 美保 金 沙玲・松原 宏紀

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
笹木 優賢	第5回東海血管検査研究会	8月20日	エキスパートが考える症例・所見発見のコツ 症例提示	
小松 勇人	知立RAセミナー	8月24日	Seronegative RAのエコー所見について	太田 直美・若山あけみ 小松 綾子・久保田美里 正司 志織・曾我 珠美 佐々木美沙子・ 加藤 知里
平田 正敏	平成29年度名古屋市小学生喘息教室	8月26日	肺機能測定について	
服部 聡	第9回日本臨床一般検査学会	8月26日	当院における大腸癌健診陽性者の追跡調査報告	加藤 節子・今井 律子 山内 昭浩
三澤 千鶴	臨床一般検査研究会 第15回スキルアップ講習会	8月26日 ～27日	精液ギムザ標本の鑑別法伝授	
長嶋 和子	第15回スキルアップ講習会	8月27日	スキルアップ講習会	
若山あけみ	知立リウマチセミナー	9月6日	リウマチ診療における新しいチーム医療 ～当院検査科の取り組み～	太田 直美・小松 勇人 小松 綾子・久保田美里 正司 志織・曾我 珠美 佐々木美沙子 加藤 知里
平田 正敏	第30回日本口腔咽頭科学会総会	9月7日～ 8日	終夜睡眠ポリグラフ検査をした患者の主訴と睡眠時無呼吸症との関連性についての検討	
加藤 櫻子	第53回日本移植学会	9月7日～ 9日	Icoの地域格差及び施設間格差の是正の方策	宮島 由佳・瀨瀬 一枝 明石 優美・朝居 朋子 剣持 敬・伊藤 泰平 星長 清隆
杉本 邦彦	第1回広島県検査技師会 東部地区生理検査研究会	9月9日	実はとってもおくが深い大動脈弁狭窄症の心エコー検査	
杉本 邦彦	第1回広島県検査技師会 東部地区生理検査研究会	9月9日	僧帽弁逆流をどこまで診るべきか	
内田 一豊	病理細胞検査研究班研究会	9月9日	造血器腫瘍（リンパ系腫瘍）における血液検査及び病理検査 フローサイトの基礎	
細田 奈未	第26回日本PSG研究会 東海支部例会	9月10日	CPAPデータの見方	
中島 晴美	第1回認知症対応力向上講習会B	9月10日	認知症対応力向上講習会	
森本 博俊	第38回日本超音波医学会中部地方会	9月10日	腹部超音波検査で診断しえたイレウス管による腸重積症の1例	前岡 悦子・二坂 好美 小島 祐毅・有吉 彩 蓼沼 美砂・湯浅 典博

会員業績集

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
笹木 優賢	第4回 VTEを考える会	9月13日	これからはじめる超音波DVT検査	
大澤 道子	第15回東海血液疾患スライドカンファランス	9月16日	slide conference	
加藤 節子	日臨技認定センター主催研修会 平成29年度認定一般検査技師 育成研修会	9月17日 ～18日	寄生虫検査について	
杉本 邦彦	超音波検査士対策セミナー	9月18日	超音波検査士試験対策セミナー	
楠木 啓史	日本臨床検査自動化学会第49回大会	9月21日 ～23日	重炭酸測定の現状	安田 宜成・杉山 大輔 齊藤 翠
久野 貴弘	第49回日本臨床検査自動化学会	9月21日 ～23日	冠動脈集中治療室入院患者の短期予後評価：入院時プレセプシン測定の有用性	北川 文彦・藤田 孝 石川 隆志・成瀬 寛之 石井 潤一
水谷 有希	第49回日本臨床検査自動化学会	9月21日 ～23日	FDP試薬の基礎的検討と改良点の評価	佐藤 聖子・西井智香子 藤田 孝・石川 隆志 石井 潤一
堀田 美佐	日本臨床検査自動化学会第49回大会	9月21日 ～23日	フェリチン測定機器及び試薬の変更に伴う測定時間・再検率の変化	山森 雅大・加藤 敦美 永山 円・加藤 秀樹 湯浅 典博
Yuki Nagata	第5回アジア医学検査学会	9月22日 ～24日	Comparison of drug susceptibility for Pseudomonas aeruginosa using TAZ/PIPC or carbapenem antibiotics	Yuta Kato, Atushi Naito, Ikuya Nakane
Mayuko Hirotsu	5th Congress of Asia Assosiation of Medical Laboratory Scientists	9月22日 ～24日	Follow-up by ultrasonography was useful for 2ndary phophylaxis of PE caused by venous aneurysm inducing floating thrombus	Yutaka Sasaki, Saryong Kim, Ryosuke Kikuchi, Hiroki Matsubara, Yoko Kajiura, Tadashi Matsushita
Ayuri Nagura	5th Congress of Asia Assosiation of Medical Laboratory Scientists	9月22日 ～24日	How can we avoid false-report of blood coagulation test? -Our laboratory criteria to find blood sampling failure-	Atsuo Suzuki, Natsumi Kameyama, Nami Maeda, Ryosuke Kikuchi, Mayumi Takatsu, Yoko Kajiura, Tadashi Matsushita
Ryosuke Kikuchi	5th Congress of Asia Assosiation of Medical Laboratory Scientists	9月22日 ～24日	Circulating pan VEGF-A and VEGF-A165b balance is associated with pulmonary hypertension-subtypes	Shigetake Shimokata, Tadashi Matsushita, Takahisa Kondo, Toyoaki Murohara

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
Hikaru Hattori	5th Congress of Asia Association of Medical Laboratory Scientists	9月22日～24日	A case of secondary acute promyelocytic leukemia with arsenic with arsenic trioxide intolerance and acquired rare deletion-type retinoic acid resistant mutation	Yuichi Ishikawa, Yoko Kajiura, Hitoshi Kiyoi, Tadashi Matsushita
深津 満	The 5th congress of A AMLS Asia of Medical Laboratory Scientists (Busan, Korea Sepember 22-24, 2017) 第5回アジア医学検査学会	9月23日	Relationship between smoking habit and dilatation of the main pancreatic duct: multivariate analysis of results obtained by mass health examination - Cross-sectional survey in a complete medical checkup -	Tsuneya Wada, Tamaki Yamada, 1Kazuki Hayashi, 2and Aiji Noda. 1Department of Gastroenterology Metabolism Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences 2Gastroenterological medicine, Akisima clinic
藤田 志保	第8回日本PSG研究会 甲信越例会	9月23日	小児のPSG解析	
杉本 邦彦	超音波検査士試験対策セミナー	9月24日	超音波検査士試験対策セミナー	
片山知奈恵	第56回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日	全身硬直性痙攣にて救急搬送された辺縁系脳炎の1例	神藤 駿・手嶋 充善 北村 文子・山本 文恵 鈴木 直美・林 久美子 三ツ矢康乃
神藤 駿	第56回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日	ギランバレー症候群との診断に苦慮した重症筋無力症の一例	片山知奈恵・手嶋 充善 北村 文子・山本 文恵 鈴木 直美・林 久美子 三ツ矢康乃
宮野 拓也	第56回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日	当院におけるEGFR遺伝子解析の現状	安藤みなみ・濱田 智博 榊原 沙知・藤井 真弓 山本 明美・山本 司 夏目 篤二
鈴木 杏奈	第56回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日～10月1日	関節液における多項目自動血球分析装置と全自動尿中有形成分分析装置を用いた基礎検討	近藤 由香・伊東 利恵 夏目佐江子・内田 一豊
前田 奈弥	平成29年度 日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日～10月1日	試験管内凝固によりフィブリンモノマー複合体は偽高値を呈する	鈴木 敦夫・山本ゆか子 亀山なつみ・名倉 鮎里 高津真由美・梶浦 容子 松下 正
藤澤 嘉朗	平成29年度 日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日～10月1日	術中神経モニタリング中にSEPが消失した1症例	榊原久美子・弘津真由子 金 沙玲・住田 佳陽 大熊 相子・梶浦 容子 松下 正

会員業績集

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
宮川 純奈	平成29年度 日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	病理組織標本作製において伸展過程の影響に関する検討	橋本 克訓・船戸 連嗣 佐藤 浩司・鈴木 利明 梶浦 容子
佐藤 浩司	平成29年度 日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	切出し録画システムの導入効果と活用方法について	原 稔晶・小林 晴美 加藤 克幸・梶浦 容子
船戸 連嗣	平成29年度 日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	当院における心臓移植に伴う心筋生検の迅速対応について	佐藤 浩司・宮川 純奈 原 稔晶・小林 晴美 加藤 克幸・梶浦 容子
伊藤まゆみ	平成29年度 日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	名古屋大学における2013年から2015年の抗酸菌集計報告	長田ゆかり・嶋岡 菜美 大蔵 照子・井口 光孝 八木 哲也・梶浦 容子 松下 正
笹木 優賢	平成29年度 日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	新しいShear wave Elastography測定法であるElastQの有用性	松原 宏紀
近田 真志	第56回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	医師会共同利用施設における下肢動脈超音波検査の取り組み	深津 満・市川 陽子 山田 珠樹
稲垣 裕介	第56回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	当施設におけるH.heilmannii胃炎の検討	富岡 政江・佐藤 太一 三浦 明美・和田 恒哉 山田 珠樹・栄本 忠昭
玉木由香里	第56回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	血液培養からCardiobacterium hominisを検出した1例	渡邊 成裕・水谷 香世 稲垣 健二・片山 孝文
山口英里花	第56回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	LOCI法によるBNP測定試薬の基礎的検討	楠木 啓史・高橋 圭司 小林 豊子・片山 孝文
服部 聡	第56回日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	尿検査を契機に横紋筋融解症の診断に至った1症例	加藤 節子・山内 昭浩
吉本 尚子	第56回日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	脱水不良が招いた病理検体の乾燥減少について	今井 律子・角屋 雅路 早川真紀子・石黒 達哉
内田 一豊	第56回日臨技中部圏支部医学検査学会	9月30日 ～10月1日	部門企画テーマ『パラダイムシフトの具体的な行動と検証』 飛躍的に進展する自動化～体腔液検査～	
手嶋 充善	平成29年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第56回）	9月30日 ～10月1日	心エコー検査と心筋バイオマーカーの比較検討	片山知奈恵・牧原 汐里 宮内 里菜・西山 弥生 長坂 和泉・三ツ矢康乃
牧原 汐里	平成29年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第56回）	9月30日 ～10月1日	下肢静脈瘤に対するEVLA後のEHITと浅腹壁静脈の検討	笹山 里菜・西山 弥生 長坂 和泉・手嶋 充善 鈴木 直美・林 久美子 三ツ矢康乃

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
藤上 卓馬	第56回 中部圏支部医学 検査学会	9月30日 ～10月1 日	XN-9000を用いた気管支肺胞洗浄液 (BALF) 測定の基礎的検討	酒巻 尚子・末武 祐介 鈴木 康太・松久保 修 三澤 千鶴・高嶋 幹代 中根 生弥
藤田 啓介	第56回 中部圏支部医学 検査学会	9月30日 ～10月1 日	心臓が原発と考えられたびまん性大細 胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)の一例	宇野 志保・下竹美由紀 永田 篤志・長坂日登美 中根 生弥
鈴木 梓未	第56回 中部圏支部医学 検査学会	9月30日 ～10月1 日	超音波検査により診断できた大動脈四 尖弁の一例	藤田 啓介・宮地 文子 宇野 志保・下竹美由紀 永田 篤志・長坂日登美 中根 生弥
鈴木 康太	第56回 中部圏支部医学 検査学会	9月30日 ～10月1 日	飛躍的に進展する自動化～髄液検査～	
林 健太	第56回 中部圏支部医学 検査学会	9月30日 ～10月1 日	急激な経過をたどった高サイトカイン 型インフルエンザ脳症の一例	高本 智史・下竹美由紀 倉光 敏行・永田篤志 長坂日登美・中根 生弥
加藤 雄大	第56回 中部圏支部医学 検査学会	9月30日 ～10月1 日	当院における8年間のMRSAの検出状 況と抗MRSA薬のMIC値の推移	杉山 裕衣・永田 悠起 塩谷 厚代・内藤 淳 長坂日登美・中根 生弥
加藤 雄大	第56回 中部圏支部医 学検査学会	9月30日 ～10月1 日	緊急臨床検査士認定資格取得に向けて の当院の取り組み	鈴木 梓未・藤上 卓馬 高井 美帆・有木 美紅 長坂日登美・中根 生弥
石川 幸	第56回日臨技中部圏支 部医学検査学会	9月30日 ～10月1 日	導出18誘導心電図の臨床診断への有用 性	山田 裕香・高山 由紀 榊原 律子・小栗真由美 川上香菜美・浜子 宗子
永田 悠起	第57回 中部圏支部医学 検査学会	9月30日 ～10月2 日	当院におけるカテーテル培養検査の報 告体制と検査状況	加藤 雄大・杉山 裕衣 塩谷 厚代・内藤 淳 長坂日登美・中根 生弥
蜂須賀大輔	第56回日臨技中部圏支 部医学検査学会	9月30日 ～10月1 日	尿中異型細胞出現時の当院での取り組 み～チーム医療で患者を守る～	土井 昭夫・伊藤 肇 山田 滝彦
山本 優	第56回日臨技中部圏支 部医学検査学会	9月30日 ～10月1 日	血液培養から複数菌が検出された症例 について	武井 佑未・木下 育哉 山本 恵子・深田多紀子 繁原矢枝子・伊藤 由美 山口 育男
加藤 櫻子	第56回日臨技中部圏支 部医学検査学会	9月30日 ～10月1 日	当院における小児採血の現状	杉浦 縁・藤田 孝 石川 隆志・成瀬 寛之 石井 潤一
山口 高明	第56回日臨技中部圏支 部医学検査学会	9月30日 ～10月1 日	褐色尿からメラニン尿を同定した1症 例	長瀧 和子・星 雅人 櫻井 昌代・榎本 喜彦 藤田 孝・石川 隆志
水谷南遥	第56回医学検査学会	9月30日 ～10月1 日	酵母様真菌における用手法および自動 検査機器に関する基礎的比較検討	和久田光毅・濱岸真奈美 早川 敏・藤田 孝 石川 隆志・石井 潤一

会員業績集

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
西垣 亮	第56回日臨技中部圏支部 医学検査学会	9月30日 ～10月1 日	健常者におけるIgMクラス抗A/B抗体 価のカラム凝集法と試験管法との比較 検討	松浦 秀哲・杉浦 縁 荒川 章子・松野 貴洋 及川 彰太・石川 隆志
津坂 彩未	第56回日臨技中部圏支部 医学検査学会	9月30日 ～10月1 日	高ヘマトクリット患者に対する凝固時 間補正の試み	
齊藤 翠	第56回中部圏支部医学検 査学会	9月30日 ～10月1 日	精度管理から精度保証、そして・・・	
郡司 昌治	第56回日臨技中部圏支部 医学検査学会	9月30日 ～10月1 日	(シンポジウム) 個別化医療への病理 検査の役割	なし
粕田 陽佳	第56回中部圏支部医学検 査学会	2018年10 月1日	クロミキシング試験が有用であった後 天性血友病Aの2症例	水谷 有希・佐藤 聖子 西井智香子・藤田 孝 石川 隆志
田中 浩一	第66回 日本農村医学会 学術総会	10月5日・ 6日	臨床検査技術科の増収に向けた取り組 み	長坂日登美・高嶋 幹代 中根 生弥
永田 悠起	第66回日本農村医学会 学術総会	10月5日・ 6日	当院における衛生管理者の職場巡視体 制	宇野 志保・織田ちづる 長坂日登美・高嶋 幹代 中根 生弥
水野 元貴	第57回日本臨床化学会年 次学術集会	10月6日 ～8日	末梢血における Cholesterylestertransferprotein遺伝 子のDNAメチル化率とHDLコレステ ロール値との関連	鈴木 康司・山田 宏哉 宗綱 栄二・大橋 鉦二 石川 隆志・石井 潤一
中村 和広	第57回日本臨床化学会年 次学術集会	10月6日 ～8日	ST上昇型心筋梗塞と非ST上昇型心筋 梗塞におけるバイオマーカーの推移	北川 文彦・久野 貴弘 武田 淳・鈴木 雅大 齊藤 翠・藤田 孝 石川 隆志・成瀬 寛之 石井 潤一
鈴木 敦夫	第1回 東海北陸 STACIAセミナー	2018年10 月7日	症例から学ぶ凝固検査のポイントと凝 固因子活性測定の特ピックス	
諸岡 貴子	なごやか腎臓病教室 秋季特別講演会	2018年10 月8日	生理検査について	
加藤 櫻子	第49回藤田医学会	10月12日 ～13日	採血採尿センター開場時間繰り上げ効 果の検証	杉浦 縁・藤田 孝 石川 隆志・成瀬 寛之 石井 潤一
早川 敏	第16回ARICON	2018年10 月14日	薬剤耐性菌サーベイランス	
山口 育男	第56回全国自治体病院 学会	2018年10 月19日	当院の感染防止対策加算における感染 制御臨床認定微生物検査技師の取り組 み	

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
村田 萌	第79回日本血液学会学術集会	10月20日 ～22日	アラキドン酸12-リポシゲナーゼはDaam1を介して活性化型RhoAに結合する	勝美 章・加藤 勝洋 松田亜沙実・西岡 朋生 天野 陸紀・松下 正 清井 仁・直江 知樹 丸山 光生・小嶋 哲人 貝淵 弘三
服部 聡	岐阜県臨床検査技師会 臨床一般部門研修会	2017年10 月22日	ここがポイント！！ 認定試験対策	
広瀬美砂	第53回日本赤十字社医学 学会総会	10月23日 ～24日	センチネルリンパ節術中迅速診断における偽陰性の要因検討	古賀 一輝・阿知 破智 阿知波輝彦・藤野 雅彦
楠木 啓史	第45回日本救急医学会 総会・学術集会	10月24日 ～26日	熱傷患者における血小板の指標と菌血症との関連性	大須賀章倫・片山 孝文 上山 昌史
内田 一豊	第7回日本検査血液学 会静岡支部形態セミナー	10月28日 ～29日	「体腔液標本（細胞）の見方・考え方」	
山本 優	愛知県臨床検査技師会微 生物検査研究班基礎講座	10月28日 ～29日	耐性菌発見の最初の入口 腸内細菌科細菌の自然耐性について	
岩崎 卓識	A Seminar of Nephrology and Urology	2018年10 月29日	尿沈渣にみられる尿路上皮がんと扁平上皮がんおよび前立腺がん細胞を鑑別する	
長田 ゆかり	第27回大韓臨床微生物 検査学会 秋季学術大 会	2018年11 月4日	Cryptococcus gattii genotype VgII(ST328) infection in Japan	Hiroshi Morioka, Nami Shimaoka, Naomi Sannda, Teruko Okura, Junko Kawamura, Mayumi Ito, Kyoko Matsumoro, Kazumitsu Kawamura, Misako Ohkusu, Tetsuya Yagi
近藤 直希	第35回私立医科大学臨 床検査技師会学術研修 会	2018年11 月11日	HCCGs を中心とした子宮頸部 LBC 標本の検討	今枝 義博・池田 美奈 中嶋 綾香
山口 育男	第26回日本口腔感染症 学会総会・学術大会	2018年11 月11日	感染制御に必要な微生物検査の知識	
山内淳平	第21回日本赤十字社臨 床検査技師会学術大会	11月11日 ～12日	AABRのrefer率と聴覚障害ハイリスク因子との関連	伊藤 修・臼井 理加 加藤 秀樹・湯浅 典博
楢本和美	第21回日本赤十字社臨 床検査技師会学術大会	11月11日 ～12日	輸血部において最近8年間に起きたインシデントの検討	村上 和代・遠藤美紀子 二村 亜子・山田雄一郎 古賀江利加・小澤 幸泰 佐久間恵美・芝口 好美 牧 俊哉・加藤 秀樹 湯浅 典博

会員業績集

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
Ryosuke Kikuchi	the 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM)	11月15日 ～18日	The balance between angiogenic and anti-angiogenic VEGF-A is associated with pulmonary hypertension-subtypes.	Shigetake Shimokata, Tadashi Matsushita, Takahisa Kondo, Toyoaki Murohara
Harumi Kobayashi	the 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM)	11月15日 ～18日	Comparison between immunohistochemical staining method and genetic test for detection of EGFR gene mutation	Ryosuke Kikuchi, Katsuyuki Kato, Yoko Kajiura, Tadashi Matsushita, Shijeo Nakamura
倉田 貴規	第64回日本臨床検査医学会学術集会	11月16日 ～18日	大腸癌根治切除例の長期予後を予測する心電図検査所見	牧 俊哉・宮島 悦子 柳沼 莉絵・松浦 菜摘 加藤 秀樹・湯浅 典博
柳沼 莉絵	第64回日本臨床検査医学会学術集会	11月16日 ～18日	同種造血幹細胞移植後の低肺機能と関連する臨床的因子の検討	倉田 貴規・宮島 悦子 牧 俊哉・加藤 秀樹 湯浅 典博・佐藤 貴彦 宮村 耕一
鈴木 敦夫	第64回日本臨床検査医学会学術集会	11月16日 ～19日	新規PT試薬「レボヘム™PT」の基本性能評価	小濱 清子・坂東 孝彦 新井 信夫・梶浦 容子 松下 正
松本 恭子	第64回日本臨床検査医学会学術集会	11月16日 ～19日	イムノクロマト法における尿中レジオネラ抗原迅速検査キット2法の比較検討	井口 光孝・大蔵 照子 嶋岡 菜美・長田ゆかり 伊藤まゆみ・川村 和光 梶浦 容子・松下 正
城 貴	第3JCHO地域医療総合医学会	11月17日 ～18日	子宮頸部原発腺様嚢胞癌の一例	中西 太・片山 孝文 露木 幹人・可世 木聡 岡本 和光・服部 行紀
高橋 圭司	第3JCHO地域医療総合医学会	11月17日 ～18日	高感度HBs抗原定量試薬「ルミパルス PrestoII HBsAg-HQ」の検討	楠木 啓文・藤本 洋平 小林 豊子・片山 孝文
吉本 尚子	第56回 日本臨床細胞学会 秋期大会	11月18日 ～19日	組織型推定に苦慮した腎癌の1例	今井 律子・角屋 雅路 服部 聡
今井 律子	第56回 日本臨床細胞学会 秋期大会	11月18日 ～19日	ワークショップ13講師 異型細胞の判定について 高異型度尿路上皮癌と低異型度尿路上皮癌の鑑別	夏目 園子・田中 瑞穂 大池 里枝
正司 志織	第28回日本臨床スポーツ医学会 学術集会	11月18日 ～19日	大腿四頭筋の筋萎縮と超音波における輝度変化の関連性	山内 高雲
宮島 里枝	第56回日本臨床細胞学会 秋期大会	11月18日 ～19日	EUS-FNAにて認めた胃局所リンパ節内Benign epithelial inclusion (良上皮封入体)の1例	宮島 里枝・加納 由美 末武 祐介・鈴木 康太 田中 浩一・氏平 伸子 成田 道彦
藤田 志保	第25回日本PSG研究会 全国大会	11月18日 ～19日	PSGとCPAPデータとかい離した症例	細田 奈未・福本 純一

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
杉山知咲季	第56回日本臨床細胞学会秋期大会	11月18日 ～19日	染色標本を用いたFISH解析の応用	郡司 昌治・藤瀬 佳穂 山下 比鶴・藤野 雅彦 伊藤 雅文
皆元 裕子	第4回 三河関節エコー研修会	11月25日	当院におけるリウマチ多発筋痛症の関節エコー所見の調査	
齊藤 翠	愛臨技生物化学分析検査研究班講演会	12月2日	検査データを医師目線、技師目線から考える	
磯貝 聡衣	輸血検査研究班講演会	12月9日	DICと輸血	
藤田 志保	第9回日本PSG研究会 甲信越支部例会	12月9日	小児のPSG解析	
下村奈千恵	第15回日本糖尿病療養指導士認定機構 認定更新者用講習会	12月16日 ～17日	日本糖尿病療養指導士認定機構 認定更新者用講習会	
加藤 節子	第34回日本臨床衛生検査技師会中部圏支部臨床一般部門研修会	1月6日～ 7日	これだけはおさえておきたい尿検査	
松浦 秀哲	第1回兵庫県合同輸血療法委員会Ns/Tc合同研修会	1月13日	チームで考える安全輸血～フレームワークを用いた事例の検証と対策	
中村 和広	東三河地区研修会	1月13日	忘れてはいけない検査のポイント～日常検査と救急医療～	
早川 敏	第6回Cpic	1月14日	中部実践感染制御セミナー	
大熊 相子	愛知県臨床検査技師会 生理検査研究班 研究会	1月20日	術中モニタリング 応用編 ～症例を中心に～	
藤田 志保	第2回NYUMON	2018年1 月20日	PSG解析のポイント	
榊原 沙知	第14回細胞検査研修会	2018年1 月21日	症例解説（呼吸器）	
皆元 裕子	豊橋 RA関節エコーセミナー	1月22日	関節エコーの撮像方法	
松浦 秀哲	度愛臨技 スキルアップ研修会	1月28日	緊急病態と検査をつなぐ	
西垣 亮	度愛臨技 スキルアップ研修会	1月28日	救急病態と臨床検査を繋ぐII	
杉浦 縁	第40回日本造血細胞移植学会総会	2月1日～ 3日	採取前日および当日の末梢血CD34陽性細胞数による収量予測	松浦秀哲
菊地 良介	東海腎機能評価研究会	2月2日	VEGF-A165bと血管病の関連から腎機能評価への応用	
松浦 秀哲	愛知県厚生連輸血部会 研修会	2月3日	不規則抗体検査の基礎から臨床	
内田 一豊	第5回臨床一般検査部門研修会	2月3日	体腔液検査の機器算定から見た細胞所見について	
鈴木 敦夫	CWA（凝固波形解析） ワークショップ	2月9日	凝固波形解析を用いた異常フィブリノゲン血症の新規検出法	

会員業績集

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
菊地 良介	第47回日本心脈管作動物質学会 シンポジウム	2月9日～10日	VEGF-Aの新展開 ～抗血管新生因子VEGF-A165bの可能性～	
嶋岡 菜美	第29回日本臨床微生物学会学術集会	2月9日～11日	Lactobacillus jensenii による結石性腎盂腎炎の1症例	
川村 和光	第29回日本臨床微生物学会学術集会	2月9日～11日	当病院における Enterobacter cloacae の疫学及び耐性機構の解析	長田ゆかり・嶋岡 菜美 大蔵 照子・三田 直美 河村 絢子・伊藤まゆみ 松本 恭子・八木 哲也
長田ゆかり	第29回日本臨床微生物学会学術集会	2月9日～11日	前立腺癌治療中の患者より Cryptococcus gattiiを検出した1例	森岡 悠・嶋岡 菜美 大蔵 照子・三田 直美 河村 絢子・伊藤まゆみ 松本 恭子・川村 和光 大楠美佐子・八木 哲也
西山 秀樹	第29回日本臨床微生物学会総会	2月9日～11日	同種造血幹細胞移植後にBacillus cereusによる敗血症から脳出血に至った1例	池上志乃富・鈴木真由子 佐久間恵美 美濃 島慎・長村 陽子 大屋 輝明・服部 拓哉
鈴木真由子	第29回日本臨床微生物学会総会	2月9日～11日	Vibrio cholerae01による急性感染性腸炎の1例	西山 秀樹・池上志乃富 美濃 島慎・佐久間恵美 長村 陽子・大屋 輝明 服部 拓哉
藤澤 嘉朗	第39回脊髄機能診断研究会	2月10日	術中神経モニタリング中にSEPが消失した1症例	榊原久美子・弘津真由子 金 沙玲・住田 佳陽 大熊 相子・梶浦 容子 西村 由介・江口 馨 松下 正
小田 晃久	第28回中部地方会学術集会	2月11日	3Dエコーを用いたLVvolumeの基礎的検討	杉本 邦彦・伊藤さつき 久保 仁美・東本 文香 田中梨紗子・神野 真司 及川 楓
杉山 博子	超音波講習会	2月11日	超音波講習会	
朝田和佳奈	超音波講習会	2月11日	超音波講習会	
吉川 充史	第51回日本腎移植学会	2月15日～3月16日	日本腎移植学会	剣持 敬・朝居 朋子 明石 優美
坂本 悠斗	第70回日本輸血・細胞治療学会東海支部例会	2月17日	D抗原に特異性を持つ抗体を保有するRhD陽性の2症例	
中島 晴美	認知症対応力向上講習会B	2月17日～3月18日	臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会B	
江坂 洋一	第33回日本静脈経腸栄養学会	2月22日～23日	当院における血清亜鉛値測定と栄養障害の調査	長坂 直子・石黒 達哉

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
石川実枝子	第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会	2月22日 ～2月23日	下痢発生時の評価と対応-当院の現状-	岩本つかさ
中根 生弥	第41回 石川県自治体病院協議会 講演会	2月24日	臨床検査の変遷と地域で育てる人材育成の実践	
金 沙玲	JSS中部 第28回地方会学術集会	2月25日	心臓超音波検査にて僧帽弁に腫瘤を認めた脳梗塞の1例	
藤田 志保	第27回日本PSG研究会 東海支部例会	2月25日	簡易呼吸モニターの解析実習	
福本 純一	第27回日本PSG研究会 東海支部例会	2月25日	簡易呼吸モニターの適正使用について	
神野 真司	第28回JSS中部 地方会学術集会	2月25日	心エコー図検査による新しい拡張能評価	
内田 由香	第28回生物試料分析化学会年次学術集会	3月2日	新人技師の救命検査室での教育課程について	藤田 孝・久野 貴弘 石川 隆志・石井 潤一
齊藤 翠	度日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会	3月3日	度日臨技臨床検査精度管理調査報告	
藤田 志保	第10回日本P S G研究会 近畿支部例会	3月11日	小児睡眠ポリグラフ解析について	
内田 一豊	平成29年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会	3月17日	県下の臨床検査データ標準化を目指して!!	
藤田 志保	第1回他団体との連携研修会	3月18日	睡眠障害の診断	

編集後記

最近、働き方改革とよく耳にしませんか。

働き方改革とは、一言でいえば「一億総活躍社会を実現するための改革」ですが、そのためには・長時間労働の是正・非正規と正社員の格差解消・労働人口確保（高齢者の就労促進や女性の社会進出）が必要です。安倍晋三首相は「モーレツ社員という考え方自体が否定される日本にしていきたい」という発言をしています。私が技師になった頃は「休暇が少ないことを自慢し、超多忙なことが生産的だ」といった価値観がありましたが、これは時代にそぐわない化石になったようです。

さて、今年も多くの会員業績が集まり、年間を通した学術部研究班の活動（記録）がありました。技師会員のモチベーションの高さを感じます。一方、学術論文は2年連続で未掲載でした。学術情報誌に位置づけられる“会誌「らぼ」”編集委員として猛省しております。2018年度は働き方改革の中で生産性を上げつつ、多くの学術活動への参画と会誌「らぼ」への論文投稿を期待いたします。

広報部 片山 孝文

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会誌 らぼ
第69巻 第1号

発行 平成30年9月1日

発行所：公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
名古屋市中村区名駅五丁目16-17 花車ビル南館
電話 (052) 581 - 1013

発行人：梶山 広美

編集人：山田 真

編集委員：中根生 弥、片山 孝文

井上 正朗

印刷所：山菊印刷株式会社

